

していく。

④譲渡時期はいつ頃か。

⑤今回、常任委員に方向性についてご理解いただければ、新年度に向けて手続きを進めたい。

⑥町も建物等の評価価格を調べて、建設業協同組合の出した資料と比較すべき。

⑦第三者評価により資産価値を提出してもらい、適正価格を出す。

⑧今後、議会はどこまでタッチするのか。

⑨取得価格を説明できる手続きをとり、予算議決後、売買契約を取り交わすまで、相談していく。

(5)幌延町生乳生産拡大事業について

地域農業生産力の維持、向上に資することを目的とし、町単独事業として実施。

内容は、初妊牛1頭につき、購入価格から40万円を控除した額で、20万円を上限とし、1経営体あたり10頭を上限としたい。補助条件は、搾乳牛の増頭を絶対条件とし、初妊牛購入後5年間営農を継続すること等を考えている。

第13回 まちづくり常任委員会報告

12月6日

○調査事項

▽冬の生活支援事業について

平成24年度から実施している本事業について、本年度が最終年となることから、継続等の要否について検討をした。

来年度以降の案としては、事業期間を定めず、灯油価格が高騰した年度のみ実施する。高騰の判断基準は、店頭表示価格が1ℓ当たり80円以上とし、毎年1月1日を基準日とする。助成金額は、現行の1世帯1万円を1世帯1百50ℓ分の額に改正する。

▽介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)について

新総合事業は、市町村が中心となり地域の実情に応じて、要支援者に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを旨とする。平成29年4月1日までに全ての市町村において

実施することが定められている。

幌延町社会福祉協議会及び幌延福祉会と協議した結果、それぞれ実施可能なサービスを行うこととした。

▽幌延町まち・ひと・しごと創生総合戦略について 移住定住住宅の整備

問寒別に1棟2戸を整備したが、拡大を目指し、地方創生拠点整備交付金を活用して整備を図る。整備事業の概要は、10戸程度(幌延地区6戸、問寒別地区4戸)を検討しており、短期から中長期の滞在に対応したお試し暮らしができるような住宅を考えている。

北大天塩研究林との包括連携協定

北海道経済産業局で実施している百%北海道産ワインクラスタ事業がある。本町は天塩研究林協力のもと、ワイン樽の原材料であるミズナラ材の提供について提案している。この計画

を円滑に進めるため、また、この事業のみならず、産業振興・地域振興を継続的に図るために、包括連携協定を締結し、幌延町産ワイン樽の製造試験を本町が主体的に進めることとしたい。

▽学校施設等に係るアスベスト対策について

平成26年6月に規則改正となり、煙突も規制の対象となった。調査の結果、幌延小学校と給食センターの煙突からアスベストが検出されており、9月に道教委に報告している。10月28日に保護者宛に対応状況のお

知らせを配付し、併せて広報12月号で町民の皆様へ周知した。

幌延小学校体育館の暖房用ボイラーを使用すると飛散の可能性があり、使用を中止している。現在は代替の温風ジェットヒーターで対応している。給食センターについては、オール電化に伴いボイラーは撤去しており、煙突は使用していないことから飛散の可能性はないと報告を受けている。今後は、早い段階で除去及び改修をおこなっていきたいと考えている。

議会の動き

- 11月4日 ▶ 第11回まちづくり常任委員会
- 11月4日 ▶ 第6回情報推進常任委員会
- 11月4日 ▶ 第8回全員協議会
- 11月7日～9日 ▶ 原子力機構報告会 (副議長・東京都)
- 11月7日～10日 ▶ 全国議長大会及び原子力機構報告会 (議長・東京都)
- 11月10日 ▶ 第18回議会報編集委員会
- 11月22日 ▶ 第12回まちづくり常任委員会
- 11月24日 ▶ 北留萌消防組合議会 (鷲見議員・羽幌町)
- 11月30日 ▶ 西天北五町議長連絡協議会 (議長・豊富町)
- 12月3日 ▶ 伊達忠一参議院議長就任を祝う会 (議長・札幌市)
- 12月6日 ▶ 第4回議会運営委員会
- 12月6日 ▶ 第13回まちづくり常任委員会
- 12月6日 ▶ 第9回全員協議会
- 12月16日 ▶ 第7回幌延町議会定例会
- 12月20日 ▶ 留萌北部家畜診療所竣工式 (議長・天塩町)
- 1月6日 ▶ 第19回議会報編集委員会
- 1月13日 ▶ 第20回議会報編集委員会
- 1月16日～17日 ▶ 宗谷管内町村議会議長会定期総会 (議長・稚内市)
- 1月19日 ▶ 第21回議会報編集委員会